

第 35 回（就労支援）分科会報告書

1. 開催日時：平成 29 年 2 月 14 日 11:00～12:30

2. 開催場所：（視察）社会福祉法人もやいの会 障害者支援センターまや

参加者（所属のみ

さんふらわあ、ディアスポラ、サングリーン、わ～よか、蓮の実団地、陽だまりの里、ひまわり、ミライプラス、赤坂園、若楠園、夢と希望、プラム.ちくご、年輪の園、広川町、八女市、リーベル

4. 実施内容

『社会福祉法人もやいの会 障害者支援センターまや 視察』

○施設概要

2015 年 4 月 障害者支援センターまや 開所（「まや」はお釈迦様の母の名前）

利用希望者がいれば、誰でも受け入れが出来るように、就労継続 A 型、B 型、就労移行、生活介護、相談支援事業所の 5 事業を行なっている。

○支援のあり方

- ・利用者優先ではなく、支援者も共に支援しあう
- ・無意識のつながりを大切にす A 型：一人一役。自主的に活動できるように。
- ・支援者の気持ちを押し付けない。

A 型：一人一役。自主的に活動できるように。

B 型：一人ひとりに会った作業内容（こちらが振り分けるのではなくて、自分が選ぶ）

移行・生活介護：互いを認め、支えあう。

○希望者だれでも利用できるように H29 年 4 月より定員拡大。

A 型：10 名⇒12～15 名 スタッフ 3 名（職業指導員 1 名 生活支援員 2 名）

B 型：14 名⇒30～40 名 スタッフ 4 名（職業指導員 1 名 生活支援員 3 名）

移行：6 名⇒6～7 名 スタッフ 4 名（職業指導員 1 名 生活支援員 2 名 支援員 1 名）

生活介護：10 名⇒12～18 名 スタッフ 5～6 名

※H29 年 2 月 14 日現在：利用者数 46 名

A 型

- ・プールを潰して、その上にハウスを建てた。案としてはプールをいかして淡水魚養殖も検討したが、失敗したときにリスク等収益の影響が大きいと断念した）
- ・佐賀県最低賃金 715 円。純利益 1000 万円が必要になる計算。
- ・素人でも出来るようにコンピューターシステムを導入。オランダ製のソフト：500～600 万円。



名古屋市の子会社と提携し、定期的に指導に来てもらっている。お金はかかるが、失敗が出来ない。

- ・トマトは2900本。年間18~20トン生産。2015年から収穫を開始。ミディトマト（フルチカ）はリコピン2倍。平均糖度7~8度。
- ・土は使わず、ヤシガラを使用。水遣りもコンピューターにて管理。車椅子でも収穫可能、座って収穫できるように、一番下に赤いトマトがなるようにしている。
- ・トマトは、近隣直売所、レストラン、学校、市役所、病院にて販売。テレビでも紹介され、一時期はなかなか購入できない程であった。トマトのわれはドライトマトやジュース用に使用している。
- ・ドライトマトは1キロで50gにしかならず、値段は1,000円くらいになり、高くなる。
- ・トマトは磨いてパック詰めを行なっている。
- ・お菓子製造は技術がなかったため、長崎の有名菓子店に修行に行きスタッフの技術料を高めた。また、事業所にも指導に来てもらっている。
- ・理事長がお寺のため、檀家さん500件くらい。お菓子の注文をいただいている。
- ・工賃は最低でも70,000円台。1日5時間。9時~16時。



B型

- ・シフォンケーキやラスク作り。
- ・しいたけ、ごま、野菜、菓子、パン作り。（野菜等はまやの給食用）
- ・障害児（ダウン症親の会）の活動拠点「たんぽぽの家」の管理を行なっている。契約作業。
- ・敷地内の施設管理を市から委託されている。
- ・工賃は30,000円~10,000円くらい。
- ・自分にあった作業を行なっている。
- ・休耕田、森林（原木しいたけ栽培）、みかん畑（昨年、みかんを伐採してオリーブを植樹）、学級園（耕す）など



生活介護

- ・トマトの箱作り、シール貼りにて工賃発生。
- ・B型と同じく、菓子・パン作り
- ・午後からは体力づくりで、外に出掛ける。
- ・校舎の1階、2階を使用し、個室希望にも対応可能。

就労移行

- ・白石町の玉ねぎ選別作業を年間契約で行なっている。
- ・利用開始から半年はチャレンジを行なっていく。
- ・どんどん出していく。一般就労を目指している。

まやの取り組み

◎地域の生産者との連携

- ・地元農業者との協議会
- ・直売所連携
- ・就農・援農による連携（まやから地域の農家へ）

◎地元企業との連携（ゴマのオニザキ、佐賀牛の畜産会社等）

◎地域や消費者との交流（まやサポーターズ倶楽部：年会費 1 口 3,000 円。2015 年 7 月現在で 200 口。目標は 1,000 口）まやで作った野菜やケーキを 3,000 円分届ける。サポーターズを通じて地域に広めていく。

◎年に 2～3 回、イベントコンサート開催

◎年に 5～6 回、サポーターズ倶楽部中心に料理教室開催

◎5 年後を目標に県道 25 号線沿いに直売レストランを建設予定（まやの前）

◎収穫祭

- ・まやで収穫したトマトを使って巨大パエリア（400 人分）を作り、近所の方が多数参加した。
- ・トマト数あてクイズ、菓子作り体験、収穫祭（料理研究家マロンちゃんの講演会）

◎見学者は多く、多いときは 70～80 人、観光バスで来るとのこと。

市との連携

- ・体育館、運動所は市の所有のため、敷地内の施設管理を市から委託されている（月 70,000 円）
- ・市所有のキャンプ場の清掃作業委託
- ・建物は譲ってもらったが、土地は市所有である為、月 20 万円支払いを行なっている

助成金・補助金関係

- ・宗教法より 2000 万円の贈与（ネット掲載）
- ・農林水産省「農のある暮らしづくり交付金」
⇒5000 万円の半分 2500 万円の補助。年 1 回 100 万円のイベント補助
- ・H26 年度障害者福祉関係施設整備費補助金
- ・地域雇用開発奨励金（ネット掲載）
- ・特定就職困難者雇用開発奨励金（ネット掲載）

